

TOYO No.1821 取替え式防じんマスク (直結式・半面形 区分:RS2)

国家検定合格番号:第TM482号

取扱説明書

■この度は当社製取替え式防じんマスクをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。取替え式防じんマスクを使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用して下さい。

【この説明書は読んだあと大切に保管して下さい。】

■疑問や不明な点がございましたら、右記の当社消費者相談室までご連絡下さい。

■この説明書を紛失した場合も同室までご請求下さい。

【発売元】 株式会社 トヨ セフティ

兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
URL: <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 TEL.0794-83-0155

日本呼吸用保護具工業会会員

【製造元】 東洋物産工業株式会社

【使用範囲】

(1) 溶接作業、研磨作業、切削作業等に使用できます。

(2) アスベスト作業

①アスベスト作業レベル2:石綿耐火被覆材等の耐火被覆材、屋根用折版石綿断熱材等の断熱材の囲い込み(破碎・切断・穿孔・研磨を伴わないもの)に使用できます。

②アスベスト作業レベル3:石綿含有スレート等の成形板(成形板を原形のまま取外し)に使用できます。

上記以上の作業レベル、作業には絶対に使用しないで下さい。

①本品は鉱物性粉じん等、粒子物質を吸入することにより人体に害を及ぼすおそれがある場所に使用する防じんマスクです。

②厚生労働省基発第0207006号(平成17年2月7日)「防じんマスクの選択、使用等について」に従い、使用して下さい。

危険

防じんマスクは下記の使用範囲を絶対にお守り下さい。
下記の使用範囲を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。

①酸素濃度18%未満の環境下では酸素欠乏の為死亡又は酸素欠乏症になりますので、絶対に使用しないで下さい。

特にタンク、井戸の中等では酸素欠乏症になりやすいので使用しないで下さい。

②管理濃度が0.1mg/mi以下の粉じん等を飛散する作業場所で使用できます。

③金属ヒューム(溶接ヒュームを含む)を飛散する作業場所等で使用できます。

ただし、オイルミスト等が存在する作業場所では使用しないで下さい。

④有毒ガスが存在している場所では、有毒ガスを除去できませんので絶対に使用しないで下さい。

⑤環境空気汚染の原因物質が不明な場所では、絶対に使用しないで下さい。

⑥粉剤又は乳剤、水和剤等のミスト状の農薬を散布する作業場所等で使用できますが、土壌くん蒸剤等蒸気が発生する場所では絶対に使用しないで下さい。

⑦放射性粉じんが発生する作業、ダイオキシン類の曝露のおそれがある作業、吹付塗装作業では絶対に使用しないで下さい。

【使用上の注意事項】

危険

防じんマスク本来の機能を発揮するために下記の事項をお守り下さい。
下記の事項を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。

①衛生管理者、作業主任者等の労働衛生に関する知識及び経験を有する者の内から、作業場毎に防じんマスクを管理する保護具着用管理責任者を指名し、防じんマスクの適正な選択、着用及び取扱方法について必要な指導を行わせるとともに、防じんマスクの適正な保守管理に当たらせて下さい。

②使用前に本品が使用用途に適合しているか、確認して下さい。

③面体、ろ過材、排気弁、吸気弁、しめひも等が正しく取付けられていることを確認して下さい。

※下記、【構造及び各部の名称】を参照して下さい。

④マスク装着後、フィットテストを必ず行って下さい。また、作業中も随時フィットテストを行い、漏れがないようにして下さい。

⑤漏れが生じるので、タオル等を当てた上からマスクを着用しないで下さい。

また、ひげ、もみあげ、前髪等がマスクと顔面の間に入り込んだ状態で使用しても漏れが発生します。

⑥面体等の部品が変形しますので、高温や高熱作業場所での使用は避けて下さい。

⑦息が苦しくなった時、粉じんの漏れ込みを感じた時、アレルギー等で皮膚に異常を感じた時、部品が破損した時は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外して下さい。

⑧ろ過材に付着した粉じん等の除去の為、水洗いする、強く叩く、エアーで吹く等必要以上の力を加える行為は絶対にしないで下さい。

(ろ過材が損傷し、機能が発揮できません。)

⑨グラインダー作業、溶接作業等で火花、スパック等がろ過材に当たらないようにして下さい。(ろ過材が損傷し、機能が発揮できなくなり、大変危険です。)

⑩ろ過材は乾燥状態で使用して下さい。

⑪改造は絶対にしないで下さい。

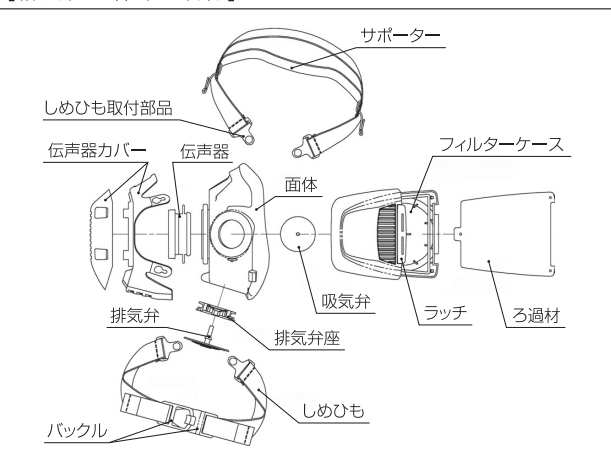
⑫フィルターケースが確実に閉まっていることを確認して下さい。 ※ラッチが下がっていること。

⑬マスクを休憩等の理由により外す場合、安全な場所で、マスク内側に粉じんが付着しないように取外して下さい。

【性能】 No.1821 防じんマスクのランク：RS2



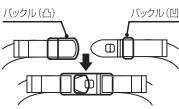

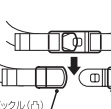
【構造及び各部の名称】

	防じんマスクの規格 (厚生労働省)	社内基準値
粒子捕集効率(NaCl)	95.0%以上	95.0%以上
吸気抵抗	80Pa以下	80Pa以下
排気抵抗	70Pa以下	70Pa以下
吸気抵抗上昇値	—	280Pa以下
二酸化炭素濃度上昇値	1.0%以下	1.0%以下
排気弁の作動気密	15秒以上	15秒以上
重量	—	210±20g



<p>【着用前の点検】</p> <p>●下記のような点に異常が認められた場合は新しいマスク又は新しい部品と交換して下さい。</p> <p>①マスクの各部に亀裂、ピンホール又は著しい変形等がある。 ②ろ過材に収縮、破損又は著しい変形等がある。 ③ろ過材に著しく粉じんが附着している、著しい変色がある。 ④装着時に著しい息苦しさがあがる。 ⑤しめひもの弾性が十分に保たれていない。 ⑥バックルに損傷、破損がある。</p>	<p>【フィットテスト(密着性試験)の方法】</p> <p>●防じんマスクの性能がいくら良くても密着性が悪いとマスク本来の性能を発揮させることはできません。</p> <p>●着用者自身で次に示した手順でフィットテストを行い、密着性が良好であることを確認してから使用して下さい。</p> <p>①マスクを下記に従い、装着して下さい。 ②フィットチェッカーをフィルターケースの吸気口に押し当てて塞いで下さい。 ※両サイドの2ヶ所 ※標準装備している丸くて黒いゴム。 ③フィットチェッカーを押し当てたまま息を吸い、顔面から空気の流入がないことを確認して下さい。 ④もう一度息を吸い、手を放し、フィットチェッカーが落ちなければOKです。 ⑤フィットチェッカーが落ちた場合、マスクの装着状態の見直しを行い、再度④を実施して下さい。</p>
<p>【着用後のお手入れ】</p> <p>(1)ろ過材 ①使用後、指で軽く叩いたりして表面に付着した粉じん等を落として下さい。 ②ろ過材は水洗いしないで下さい。 ③ろ過材に付いた粉じんをエアード吹き飛ばさないで下さい。</p> <p>(2)ろ過材以外の部品 ①表面に付着した粉じん、汗等の汚れは乾いた布又は軽く湿らせた布で拭いて下さい。 ②汚れのひどい時はろ過材を外し、中性洗剤で水洗いし、陰干しして下さい。</p>	

【マスクの付け方、外し方】 有害物質のない清潔な場所で行って下さい。

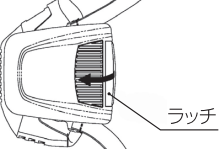
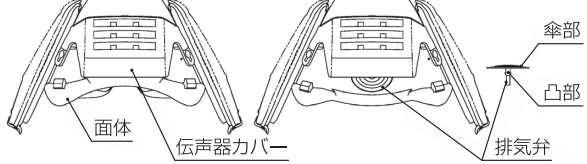
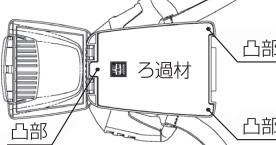
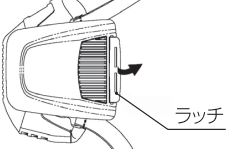
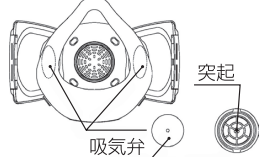
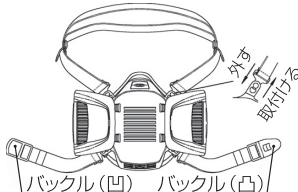
 <p>①サポーターを頭部に掛け、マスクを顔面に当てて下さい。</p>	 <p>②バックルの凸と凹を首の後ろでしっかりと引っ掛けて下さい。</p> 	 <p>③上下左右にマスクを動かし、顔面にフィットさせて下さい。</p>	 <p>【外し方】 外す時はバックルを外して下さい。</p>
---	--	---	--

【部品交換の目安】

●下記のような点に異常が認められた場合は新しい部品と交換して下さい。

①吸気弁、排気弁等に破損、亀裂又は著しい変形がある。 ②ろ過材に収縮、破損又は著しい変形がある。
③吸気抵抗の上昇、粉じんの捕集効率の低下がある。 ④しめひもの弾性が充分保てない。 ⑤しめひも、バックル、サポーターに損傷、破損がある。

【部品の交換方法】

<p>(1)ろ過材 ①フィルターケースカバーのラッチを矢印方向に押し上げ、フィルターケースカバーを外して下さい。 ②フィルターケースカバーを開いて、ろ過材を取り出して下さい。</p>	 <p>ラッチ</p>	<p>(3)排気弁 ①面体下部を内側に折り曲げます。(排気弁が現れます。) ②排気弁の傘部を指でつまみ、引き抜いて下さい。(下記参照) ※排気弁の取付け状態を確認しておいて下さい。 ③新しい排気弁を取付ける際は、まず弁芯を排気弁座の中央の穴に通します。(面体外側より) 面体内側に排気弁の芯が突き出ますので、指でつまんで凸部が出るまで引っ張って下さい。 ※傘部の変形のないことを確認する。 ※凸部が面体内側にあることを確認する。 ※元の状態に取付けられていることを確認する。</p>  <p>傘部 凸部 面体 伝声器カバー 排気弁</p>
<p>③交換用ろ過材の3箇所穴をフィルターケース本体の凸部(3箇所)に確実に挿入し、ろ過材のズレがないようにして下さい。 ※青い不織布(内の表示あり)が内側になるようにセットして下さい。</p>	 <p>ろ過材 凸部 凸部</p>	
<p>④フィルターケースカバーを閉め、「カチッ」と音がするまでラッチを矢印方向に押し下げて下さい。 ※ろ過材がフィルターケース本体からはみ出していないことを確認して下さい。</p>	 <p>ラッチ</p>	
<p>(2)吸気弁 ①吸気弁をつまんで外して下さい。 ②新しい吸気弁の中央の穴を吸気弁座の突起に取付けて下さい。 ※正しく付いていることを確認して下さい。</p>	 <p>突起 吸気弁</p>	<p>(4)しめひも ①しめひも取付具を伝声器カバーの取付穴から、外して下さい。 ②新しいしめひもは、しめひもの裏表、向き、ねじれに注意し、しめひも取付具を伝声器カバーの取付穴に取付けて下さい。</p>  <p>外す 戻す 取付ける バックル(凹) バックル(凸)</p>

【保管方法】

①マスクは乾燥した状態で、周囲に有害な物質のない冷暗所に保管して下さい。
②マスクの上に重い物を置かないで下さい。(型くずれになります。)

【破棄方法】

マスクに付着した有害物質が再飛散しないように袋等に詰めて破棄して下さい。

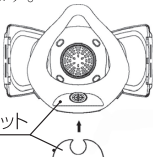
【交換部品等について】

以下の交換用部品を販売しております。
お買い求め頂いた販売店へお問い合わせ下さい。

- 吸気弁
- 排気弁
- しめひも(TOYO No.1821用)
- 取替え用フィルター(No.1826)

取替え用吸水マット：No 1 8 3 7について

(1)面体内に呼気による汗や水分が溜まる場合に使用します。
(2)使用方法
①マスク接顔部の内側を指で広げます。
②吸水マットを面体の底に合わせて、セットして下さい。
(3)交換の目安
①著しく損傷した場合。
②著しく汚れた場合。
(4)使用中・使用後のお手入れ
使用中、充分水分を吸収した場合は軽く水洗いし、陰干しにより乾燥させて下さい。(損傷、汚れが少ない場合)
(5)注意事項
①吸気弁、排気弁の作動に影響を及ぼさないようにセットして下さい。
②吸気弁、排気弁を損傷させないで下さい。



吸水マット